

Fukuoka Asian Art Museum Art Exchange Programs Annual Report 2018-2019

平成 30 年度
福岡アジア美術館交流事業報告（『年報』抜粋）

交流事業

本事業は、アジア各地で活躍する美術作家や研究者・学芸員等を福岡に招聘し、市民との共同制作やワークショップ、トークなどの美術交流事業をおこなうことで、市民がアジアの美術・文化に対する興味を高め、理解を深める一助となることを目指すとともに、アジア美術を取り巻く状況の活性化を目的としている。



モー・ジアチン／莫佳青
(中国) [美術作家]

1993年生まれ
杭州(中国)在住
滞在期間: 5月17日～7月9日
(10月27日～11月11日※「博多旧市街まるごとミュージアム」で滞在)

□主な活動

①作品制作

カラフルに彩られた近未来的なオープンキッチンでひとりの女性が料理をつくり、芝生でピクニックを楽しむ4人の男性に給仕するという物語の映像作品《魔法の薬》を制作し、「博多旧市街まるごとミュージアム」(21頁参照)期間中に当館7階で展示した。



制作の様子



撮影の様子



《魔法の薬》2018年
福岡アジア美術館

②ワークショップ

●5月28日、29日

「舞台装置を作ろう！」

舞台美術のレクチャーの後、時間・空間・感情を表す3種類のキーワードをコンセプトに図形と色彩と光を組み合わせたミニチュアの舞台装置を制作し、「博多旧市街まるごとミュージアム」(21頁参照)期間中に当館8階で展示した。

参加者: シンガポールCHIJ中学校 12人

場 所: 交流スタジオ



ワークショップの様子



ワークショップ作品の展示

③トーク

●5月19日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

参加者: 一般44人

場 所: アートカフェ



トーク



ヴー・キム・トゥー
(ベトナム) [美術作家]

1976年生まれ
ハノイ(ベトナム)在住
滞在期間: 9月11日～11月28日

□主な活動

①作品制作

ベトナム紙「ゾー」や八女和紙などを用いたランタンによるインスタレーション作品《水とみる夢》を制作し、「博多旧市街まるごとミュージアム」(21頁参照)で龍宮寺三宝大荒神堂に展示した。



八女へ和紙の調査



制作の様子



《水とみる夢》
2018年、龍宮寺

②ワークショップ

●9月29日

「博多町屋」ふるさと館×福岡アジア美術館レジデンス・プログラム「ランタン作りワークショップ」
ヴー・キム・トゥーの制作技法を用いてベトナムと日本の手漉



ワークショップの様子



作品展示

きの紙でランタンを制作し、「博多旧市街まるごとミュージアム」(21頁参照)期間中に「博多町屋」ふるさと館に展示した。

参加者: 一般12人

場 所: 「博多町屋」ふるさと館

●10月5日

「雲の下の夢—想像の動物をつくろう！」

3本のワイヤーで作った雲のフレームにベトナム紙を貼り、それに想像の動物を描いて、雲のオブジェにつるしていくワークショップ。「博多旧市街まるごとミュージアム」を含む期間中、ラウンジM8に展示。

参加者: 有田小学校3年生 119人

場 所: 交流スタジオ



ワークショップ



ワークショップ作品展示

③トーク

●9月15日

「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」

参加者: 一般46人

場 所: アートカフェ



トーク

④地域交流イベント

●10月20日

「博多リバレイン灯明」(18頁参照)

場 所: 博多リバレイン フェスタスクエア

関連記事

- 2018. 9.13 朝日新聞(朝)「[福岡情報: イベント]アーティスト・トーク「ヴー・キム・トゥーさん」
- 2018. 9.20 西日本新聞(夕)「[情報: エトセトラ]ランタン作りワークショップ 参加者募集」
- 2018. 9.20 毎日新聞(朝)「[福岡 ぶらり出かけよう: 案内板: 催し]ランタン作りワークショップ」
- 2018. 9.21 読売新聞(朝)「[福岡]ベトナムから来たアーティスト・ヴーさんのワークショップ」
- 2018. 9.28 西日本新聞(朝)「[まちナビ]博多町家でランタン作りワークショップ」



キャンディー・バード
(台湾) [美術作家]

1982年生まれ
台北(台湾)在住
滞在期間: 2月18日~3月29日

□主な活動

①作品制作

移住者や自分の場所になじめずに疎外感を抱く人々などを取材して、彼/彼女らに私的な物語を書いてもらい、それらを壁画に描き出すアート・プロジェクト「アザーズ(他者)」を実施した。



プロジェクトの様子

②ワークショップ

●3月8日

「電車に乾杯！」

キャンディー・バードによるドローイングのデモンストレーションの後、参加者全員で大きな水彩紙に自由に想像した電車の絵を描き、最後にキャンディー・バードが線路を書き加えて完成させた。

参加者: 西戸崎小学校 特別支援学級 1~6年生 12人
場 所: 交流スタジオ



ワークショップの様子

キャンディー・バード (台湾) の壁画プロジェクト
コラボレーター募集!

現在、福岡アジア美術館に駐在中のアーティスト、キャンディー・バードが、壁画、写真、グラフィックにフォーカスし、制作しているアートプロジェクト「アザーズ(The Others)」のなかで、コラボレーターを募集します。あなたの個性も活かしてみませんか?

【アザーズ(The Others) プロジェクトとは】
@aizuru.jp | @aizuru.art | @aizuru.photo
キャンディー・バードは、2017年4月より福岡のアートプロジェクト「アザーズ」の中心人物として、自分自身の移住体験から、移住者や自分自身の場所になじめずに疎外感を抱く人々などを取材して、彼/彼女らに私的な物語を書いてもらい、それらを壁画に描き出すアート・プロジェクト「アザーズ(他者)」を実施した。福岡アジア美術館に駐在して、3月までの活動を予定している。

【コラボレーターへの条件】
福岡に在住し、以下の条件をすべて満たしている方が希望される。
①福岡に在住している(福岡、佐賀、長門、豊後)の在住者
●年齢、性別、国籍は問いません(小学生以上可)
②アート、デザイン、写真、グラフィックに関心がある
③日本語が話せる(日本語が話せない場合は、その旨を応募時に必ず記載してください)
※応募には必ず履歴書が必要です。

【応募方法】
上記の条件に該当する方、興味のある方はメールでお送りください。
Eメール: aizuru@fukuoka-asia-museum.jp
※応募は無料です。採用決定後、活動期間中に必要な費用を支払います。
※応募は、作業時間外に行ってください。

アーティスト(福岡)
キャンディー・バード
Candy Bird
@aizuru.art | @aizuru.photo | @aizuru.jp

協力者募集のチラシ

③トーク

●3月10日

「福岡アジア美術館20周年記念トークイベントアジア発ローカル美術の現在:路上篇」

参加者: 一般45人
場 所: アートカフェ



トーク

他の機関から助成等を受けて自費で福岡に滞在し、作品制作や調査研究を行うことを希望するアジアの美術作家やアジア美術の研究者・学芸員に対して、制作や調査活動を支援した。



チョック・ユエ・ザン
(マレーシア) [美術作家]

1994年生まれ
クアラルンプール(マレーシア)在住
滞在期間: 5月14日～6月24日
シンガポールのユナイテッド・オーバーシーズ銀行の助成で滞在

□主な活動

①作品制作

福岡の自然豊かな場所を訪れ、そこで得た刺激や着想をもとに《海の記憶》など平面作品7点を制作し、当館ラウンジM8で作品を公開した。



福岡の自然を調査



制作の様子

②トーク

●5月19日
「滞在者によるトーク～これまでの活動と福岡での予定～」
参加者: 一般44人
場 所: アートカフェ



トーク

●6月23日
「チョック・ユエ・ザン トーク」
参加者: 一般41人
場 所: ラウンジM8、アートカフェ



トークとともに行ったバンブー・ダンスの様子

③作品公開

●6月23日～7月11日
場 所: ラウンジM8



作品公開時のトーク

関連記事

2018. 6.28 朝日新聞(朝)「[福岡情報]チョック・ユエ・ザン 滞在作品公開」



キム・ジョンヒョン
(韓国) [研究者]

1985年生まれ
ソウル(韓国)在住
滞在期間: 6月18日～7月20日
「2018ACC国際インターンシップ・プログラム」で滞在

□主な活動

①調査・研究

当館が行うアジアのアート・プロジェクトやその過程を調査し、福岡の若手作家やキュレーターとのネットワークを広げた。



クラリッサ・チキアムコ
(フィリピン) [ナショナル・ギャラリー・シンガポール学芸員]

1983年生まれ
シンガポール在住
滞在期間: 12月3日～14日
シンガポール日本商工会議所の支援で滞在

人芸術作家」、当館所蔵の1940年代から1990年代にかけて制作された抽象絵画の作品について調査した。

□主な活動

①調査・研究

当館のコレクション展示、および1990年代に開催された2つの展覧会「東南アジア—近代美術の誕生」と「アジア系アメリカ

②トーク

●12月13日

「あじびコレクションのボランティア向けトーク」

参加者: 当館ボランティア 28人

場 所: アジアギャラリー



シルケ・シュミクル
(ドイツ) [ナショナル・ギャラリー・シンガポール学芸員]

シンガポール在住
滞在期間: 12月3日～14日
シンガポール日本商工会議所の支援で滞在

て調査・研究した。

□主な活動

①調査・研究

当館所蔵のビデオ・アート作品や日本のビデオ・アートについ

②トーク

●12月13日

「あじびコレクションのボランティア向けトーク」

参加者: 当館ボランティア 28人

場 所: アジアギャラリー



くらはし
棕橋彩香
(日本) [研究者]

1993年生まれ
東京在住
滞在期間: 1月15日～3月22日

□主な活動

①調査・研究

当館所蔵のタイの美術作家の作品や写真、資料を中心に、現代美術のなかに仏教がどう描かれているか、社会的、政治的なものがどう美術に落とし込まれているかなどについて調査・研究した。

②トーク

●3月9日

「福岡アジア美術館20周年記念トークイベントアジア発ローカル美術の現在:極楽・地獄篇」

参加者: 一般81人

場 所: アートカフェ



リム・ソクチャンリナ
(カンボジア) [美術作家]

1987年生まれ
プノンベン(カンボジア)在住
滞在期間: 3月1日～31日
国際交流基金アジアセンターの助成で滞在

□主な活動

①作品制作・調査

プロジェクト「福岡におけるカンボジア人移民労働者」のため、福岡で暮らすカンボジア人労働者に取材し、作品制作のための調査をおこなった。

②ワークショップ

●3月31日

「カンボジア料理の集い」

福岡市内のカンボジア料理店のオーナーでカンボジアコミュ

ニティの中心人物でもある池田スロス氏を招き、参加者にカンボジア料理をふるまいながら、文化についてのトークと制作中のプロジェクトについて紹介した。

参加者: 32人

場 所: アートカフェ

③トーク

●3月10日

「福岡アジア美術館20周年記念トークイベントアジア発ローカル美術の現在:路上篇」

参加者: 一般52人

場 所: アートカフェ



ワークショップの様子

「博多リバレイン灯明」

〔第24回博多灯明ウォッチング2018〕同時開催)

会 期:10月20日(土)18:00~21:00

場 所:博多リバレイン フェスタスクエア

博多リバレインが毎秋開催している「博多リバレイン灯明」に、美術作家招聘事業で滞在していたヴー・キム・トゥー(ベトナム)が参加した。数千個の灯明をつかって、ベトナムの古い版画を題材にして、いきいきとした2匹の魚を地上絵にした。



魚の絵の灯明